

部外種 特別の教科 道徳

項目	観点	教科書名							
		新しい道徳(2・東書)	輝け未来(11・学図)	とびだそう未来へ[17・教出]	中学道徳(38・光村)	あすを生きる(116・日文)	明日への扉(224・学研)	中学生の道徳(232・廣あかつき)	道徳(233・日本教科書)
1 学習指導要領の教科の選択について	○道徳的諸価値について理解するために、どのように配慮されているか。	人間としての生き方を深く考える教材や主体的に学習に取り組める教材を通して、道徳的価値を理解するように配慮されている。ねらいとする内容項目が明確になるように、各教材の導入にテーマを示し、話し合う展開にしている。	よりよい生き方を模索する教材や命・自然・人・社会などとのつながりを考える教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材によって「心の扉」が設けられ、視点が明確になるようにしている。	共感でき、切実感をもって考える教材や社会と自分とのつながりを捉える教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材の冒頭には「問い」が、教材末には「学びの道しるべ」が設けられ、理解を深められるようにしている。	主体的に考えることのできる教材や自己表現や他者との対話への意欲を高める教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材末には、「考える観点」が設けられ、理解や自覚を深めるための発問が用意されている。	人間としての誇りのある生き方に迫る教材や将来にわたって生き方を追求する教材などを通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材の冒頭に主題名を明記し、道徳的価値と関連づけて学べるようにしている。	主体性や自尊感情を高めることができる教材や自分らしい生き方について考える教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材のタイトルに主題名を表示しないことで、価値を内面的に自覚させるようにしている。	人間のよさを感じることもできる教材や自己の体験や経験に照らして考える教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材末に学習する項目に関連がある名言が示され、理解を深まるようにしている。	身近な事例から考える教材、先人の気高い生き方から自己の生き方を見つめ直す教材、現代的な課題を自分ごととして話し合う教材などを通して、道徳的諸価値を理解するように配慮されている。教材のタイトルに主題名を表示しないことで、価値を内面的に自覚させるようにしている。
	○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるために、どのように配慮されているか。	自ら課題を見つけ考える教材や複数の立場から考える教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。「話し合いの手引き」による対話から、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。	課題意識をもち自ら考える教材や多様な考え方に触れる教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。お互いの意見を出し合う発問が用意され、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。	自らの変化や成長を実感できる教材や様々な角度から考える教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。導入の「問い」から、自己の生き方について考えるように配慮されている。	自分を重ねて考える教材や他者との対話への意欲を高める教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。教材ごとの「学びのテーマ」により、自己の生き方について考えやすいように配慮されている。	自分のこととして考えられる教材や豊かな考えを引き出す教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。道徳ノートにより、自分の生き方を見つめられるように配慮されている。	問題意識をもつことができる教材や異なる視点から考える教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。補助資料により、自己の生き方についてより深く考えられるように配慮されている。	自己の体験から考える教材や問題意識をもち多様に考える教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。道徳ノートにより、自分の生き方を見つめられるように配慮されている。	課題を自分との関わりで捉える教材や様々な視点から考える教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めるように配慮されている。キャリア教育の視点からも、自己の生き方考えるように配慮されている。
	○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、どのように配慮されているか。	主体的・対話的な学習を促す教材や日常生活へとつながる現代的な課題についての教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	登場人物への自我関与が中心の教材や問題解決的・体験的学習を促す教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	実生活に照らし合わせた教材や自分のよさや課題に気づくことができる教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	主体的に考えることができる教材や気づきや学びを大切にし自己の変容を感じられる教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	自ら考えることで生き方を広げ深める教材や現代的課題を自分のこととしてとらえられる教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	生徒の問題意識を大切にした教材や自己の生き方について考えを深める教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	問題解決的・体験的学習を促す教材やよりよく生きる喜びが感じられる教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。	主体的・対話的な学びを促す教材やよりよい生き方について考えることができる教材を通して、道徳的実践意欲を育てられるように配慮されている。
2 内容の程度及び取り扱いについて	<基礎・基本の定着のための工夫> ○内容項目の4つの視点「A 自分自身に関すること」、「B 人との関わり」、「C 集団や社会との関わり」、「D 生命や自然、崇高なものとの関わり」を通して、道徳性を養うために、どのような工夫が見られるか。	道徳的価値を自身との関わりから考えることのできる教材や、いじめ問題や生命尊重に関する教材をユニット構成にし複数時間扱いにするなど、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	内容項目の視点の関連を考慮した教材や、いじめ問題に対する様々な道徳的価値を含む教材など、複数の教材を用意して繰り返して学習ができるようにしてあるなど、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	学校行事や日常生活と関連した教材や、いじめ問題などをさまざまな側面から考え深めることができる教材など、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	発達段階に合わせたユニットが構成されて系統性のある学習ができ、重点としている内容項目は複数時間で学習できる教材が用意されるなど、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	生徒の目線にあった身近な教材や、系統的で発展的に学習できる学年のテーマが設定され学習といじめ問題などをユニットで構成するなど、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	様々な現代的課題を扱った教材や、複数の内容項目を関連づけている教材など、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	現代的な課題に関する教材と人権・いじめ防止・情報モラルに関する教材や、発達を踏まえた道徳ノートの項目など、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。	日常生活の身近な場面を取り扱った教材や、生命の尊重といじめの防止など関連させて内容を取り扱うなど、発達段階に応じて道徳性を養う工夫が見られる。
	<関心意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫> ○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、多様な指導を進めるために、どのような工夫が見られるか。	モラルスキルトレーニングなどの進め方の提示や、役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターを取り入れて複数時間にわたって扱う教材など、多様な指導を進めるための工夫が見られる。	自分の関与が中心となる教材や問題解決的な学習ができる教材などにより、体験的な学習を相互に関連づけるなど、多様な指導を進める工夫が見られる。	異なる立場からの考えを取り上げた教材と判断を迫られる場面が中心の教材や、役割演技や話し合い活動を取り入れた教材などにより、多様な指導を進める工夫が見られる。	異なる道徳的価値が葛藤する教材と体験を通して道徳的価値を確かめる教材や、生徒の深い学びにつながるための学びなおしの教材などにより、多様な指導を進める工夫が見られる。	問題解決的な学習のステップを示した教材や、発達段階に応じた人間関係づくりとソーシャルスキルトレーニングといった体験的な学習ができる教材を用意するなど、多様な指導を進める工夫が見られる。	役割演技などを通して体験的な活動を取り入れた教材や、道徳的価値に関する問題を投げかけて考えを深める教材を提示するなど、多様な指導を進める工夫が見られる。	道徳的価値に関する問題を生徒が見つけ考えを深める教材や、役割演技や追体験などの表現活動を取り入れた教材など、多様な指導を進める工夫が見られる。	葛藤場面のある教材と他の領域にも関連がある教材や、先人の様々な生き方に触れる教材など、多様な指導を進める工夫が見られる。

	<p>&lt;個に応じた指導のための工夫&gt;  ○考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p>	<p>手引きにより学習の見通しを示したり教材と組み合わせたコミュニケーション活動を入れたりするなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>問題解決のための過程を具体的に示したり考えを深めるための活動を示すなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>教材の冒頭で課題を提示することにより学習の動機付けを図ったり目的に応じた言語活動を示したりするなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>教材末に「学びのテーマ」を用意して話す・書く・読書といった言語活動を促すなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>「学習の進め方」として活動の見通しをもたせたり道徳ノートに自分や友達の考えを記入できるようになっていたりと主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>教材の間に特設されている内容と教材を組み合わせられた活動ができるなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>道徳ノートで学習を振り返ったり「考えを拡げる・深める」が活動のきっかけが示されていたりするなど、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>	<p>図や写真、挿絵のみの教材や自分と他者の考え方や感じ方を比較する教材など、主体的に考えるための工夫が見られる。</p>
3 構成 配列 分量	<p>○内容項目や発達の段階からみて、教材の構成・配列や内容の系統性については、どのような特色があるか。</p>	<p>オリエンテーション、本編、付録の3つで構成され、教材は4つの視点で色分けし、配列されている。オリエンテーションで授業での話し合いの方法が掲載されていることに特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、配列されている。各教材ごとに現代的な課題に即したマークがあることに特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、学校行事や教科・領域と関連が図りやすいように教材が配列されている点に特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、学校生活の実態を考慮したテーマごとのまとまりに分けて配列されている点に特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、配列されている。学校生活の実態からテーマごとのまとまりに分けたページがある点に特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、配列されている。教材を現代的な課題に即したテーマごとに分類したページがある点に特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、道徳ノートは教科書と関連させて視点ごとにまとめる点に特色がある。</p>	<p>4つの視点で色分けし、項目ごとにまとめて配列している点に特色がある。</p>
	<p>○教材の分量及び配列には、どのような特色があるか。</p>	<p>各学年において「生命の尊さ」「いじめ問題対応」は複数の教材を配するとともに、各学年で重点化した内容項目について複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>内容項目について、各学年ごとに複数の教材を配置している。</p>	<p>「生命の尊さ」「いじめ問題」「情報モラル教育」について、複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>「生命の尊さ」を重点化し、各学年において複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>「いじめ問題」など現代的、社会的課題への対応を重点化し、複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>「生命の尊さ」「いじめ防止」を重点化し、各学年で複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>「自主、自律、自由と責任」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点化し、各学年で複数の教材を配したところに特色がある。</p>	<p>「価値観の多様性を受入れる寛容な心を育むこと」を重点化し、複数の教材を配したところに特色がある。</p>
4 表記 ・ 表現	<p>○学年の発達の段階に即した文や文章の長さ、段落、文体、挿絵、写真、さらに図・表等の表記、表現について、どのような工夫が見られるか。</p>	<p>本文は、読みやすいように少し太めの書体を使用している。また、大きめの写真や鮮明な挿絵で、理解しやすいようにしている工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすいように文字が大きめになっている。また、現代的課題を示すポイントマークの表示など、デザインと配色の工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすい書体を使用している。また、細かい部分まで見分けがつきやすい配色であり、図やグラフは理解しやすい配置にしているという工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすい書体を使用している。また、明度や彩度に極端な差がない落ち着いた配色で、各ページの字詰め、行詰りは読みやすいようにデザインされているという工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすいように文字が大きめになっている。また、大きく鮮明に配置された図版や、細部まで配慮された色調や色の組み合わせに工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすい書体を使用している。また、図表や挿絵、写真は視覚的にとらえやすいよう、配置に工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすい書体を使用している。また、ワイド判を生かした文字の大きさや分量、イラスト配置の工夫が見られる。</p>	<p>本文は、読みやすい書体を使用している。また、伝統・文化と新しい技術との対比を表した表紙の写真や、内容項目ごとに分けた配色に工夫が見られる。</p>
5 体裁 使用上の 便宜	<p>○印刷、製本、紙質、文字の大きさ、使用上の便宜上等について、どのように配慮されているか。</p>	<p>AB判でありながら、持ちやすくするために軽量化を図られている。紙面は開きやすく、堅牢に製本されている。用紙やインキは、再生紙や植物油インキを使用するなど、アレルギーや環境への配慮がされている。</p>	<p>AB判で、紙面が広く読みやすくなっている。誌面は開きやすく、堅牢に製本されている。環境に配慮した用紙と植物油インキを使用し、アレルギーにも配慮がされている。</p>	<p>B5判で、携帯しやすく扱いやすい大きさになっている。環境に優しい再生紙であるとともに、軽量で丈夫な用紙を用いている。インキは植物油インキを使い、アレルギーや健康への配慮がされている。グリーン電力で印刷するなど、環境への配慮がされている。</p>	<p>B5判で、携帯しやすく扱いやすい大きさになっている。紙面は開きやすく、堅牢に製本されている。環境に配慮した軽くて裏写りにくい用紙と、健康に配慮した植物油インキを使用するなどの配慮がされている。</p>	<p>B5判で、携帯しやすく扱いやすい大きさになっている。別冊の道徳ノートは、中とじが針金で強度面への配慮がされている。軽量化した再生紙と植物油インキを使用した表紙は従来よりも工夫された表面加工を施したりするなど、健康面や環境面への配慮がされている。</p>	<p>A4判で、大きな紙面の構成になっている。紙面は開きやすく、堅牢に製本されている。環境に配慮した用紙と植物油インキを使用し、環境負荷の小さいCTP方式で印刷するなどの配慮がされている。</p>	<p>AB判で、見やすさ読みやすさを重視している。紙面は開きやすく、堅牢に製本されている。別冊の道徳ノートは、中とじが針金で強度面への配慮がされている。再生紙と植物油インキを使用するなど、環境面への配慮がされている。</p>	<p>B5判で、携帯しやすく扱いやすい大きさになっている。紙面は開きやすく、堅牢に製本されている。用紙は鉛筆でも書きやすい用紙を使用することで、書きやすい配慮がされている。</p>